

パソコン・いわくら教室新聞

今ではスマホでもパソコンでも「クラウド」を併用して利用することが当たり前になっており、保存したデータは、同時にクラウドにも保存される仕組みです。

どんな仕組みなのでしょう

Sマートフォンでは、機器の初期設定のとき必ずID登録を行い、そのIDで機器登録を行います。このIDは、ドコモでもauでもソフトバンクのものでもなく、iPhoneでは「アップル」、Androidでは「グーグル」へのID登録となっています。この登録で、スマホとそのアップルやグーグルが行っているオンラインサービスとが紐づけられ使用できるようになります。

サービスには様々ありますが、身近なところでは自動で行われる写真の同期です。iPhoneでは「iCloud 写真」へ、Androidでは「Google フォト」へ保存されます。特にiCloudでは、無料で利用できる容量は5GBしかありませんので、「iCloud ストレージがいっぱいです」のメッセージを目にした方もおられるでしょう。対応は有料で追加容量を契約するか、不要な写真を削除するか、放つておくか、でしようか。Google フォトでは15GBまで無料で使えます。

パソコンでは？

Windowsパソコンでも、前述と同じような仕組みとなっており、マイクロソフトアカウント(ID)を登録し、そのIDでパソコンを登録します。

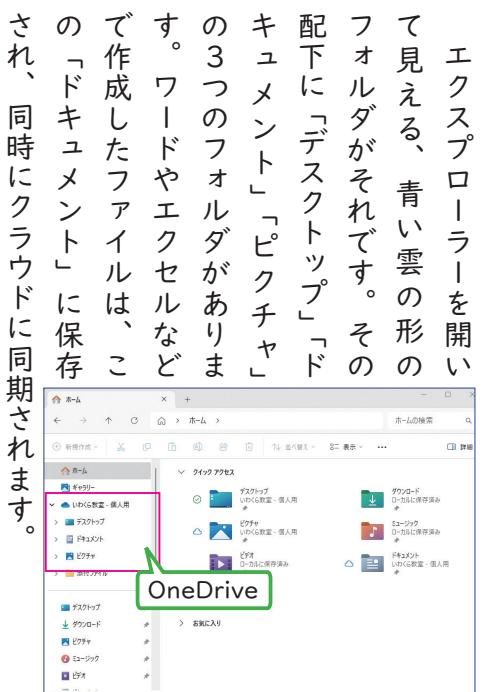
このIDでマイクロソフトのオンラインサービスが利用できるようになります。スマホと同じようにデータを保存できる場所があり、名称は「OneDrive」、無料で利用できるのは5GBです。パソコンでは写真は撮影しませんが、様々な書類や取り込んだ写真、編集したビデオなど、様々なデータがあります。それらをすべて「OneDrive」に同期します。容量が少ないのですが、いつぱいになり同期ができなくなります。

対応はスマホと同様です。放つておいてもパソコンに保存したデータが、OneDriveには保存されないだけですので、支障がなければ、それでいいでしょう。しかし、同期の処理は行われますので、そのたびに「同期できない」旨のメッセージ

が表示されます。(同期用のアプリも作動したままであるのでパソコンの動きにも影響もあります)

OneDriveを確認

○ ソコンにはどのように保存されているのでしょうか。ファイルの状態を確認しよう。



エクスプローラーを開いて見える、青い雲の形のフォルダがそれです。その配下に「デスクトップ」「ドキュメント」「ピクチャ」の3つのフォルダがあります。ワードやエクセルなどで作成したファイルは、この「ドキュメント」に保存され、同時にクラウドに同期されます。

保存されているファイルアイコンには印が表示されており、それぞれ次の通りです。

① 双方に存在するが、しばらく未使用だとパソコンからは削除される

② クラウドだけに保存されている

③ パソコンだけにあり同期に失敗した

また、更新中は緑の丸い矢印マークが表示

便利なOneDriveなのですが、規定で設定されることと、容量の制限もあり少々不便です。

次月はこのOneDriveの同期を停止させ、その上でOneDriveを使う方法をお話しましょう。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホからはQRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

